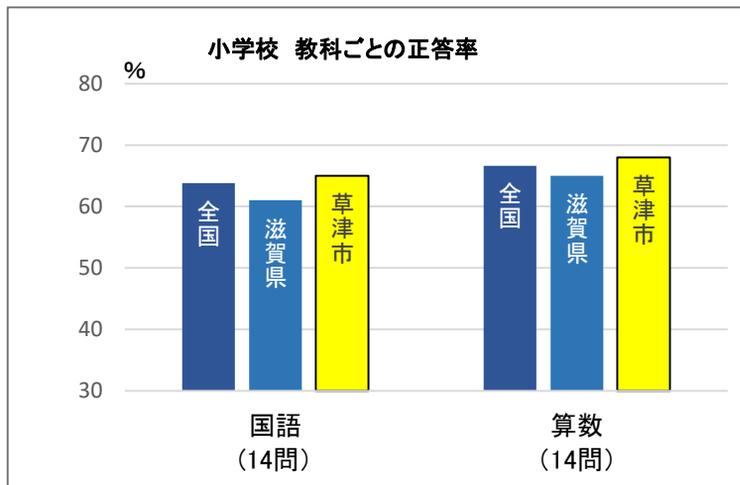


1 平成31年度(令和元年度) 全国学力・学習状況調査より

子どもたちの学力

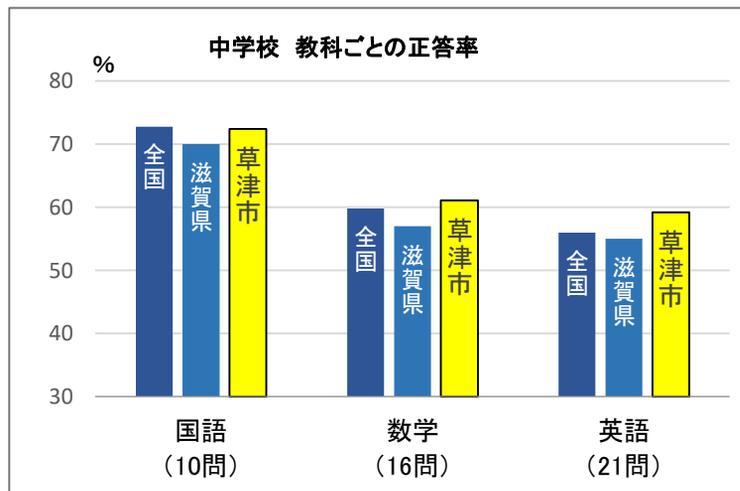
- ・小学校のすべての教科、中学校の数学、英語で、全国平均以上でした。
- ・中学校英語では、6中学校すべて全国平均以上でした。



学力向上マネジメント会議



10月10日(木)、各学校の学力向上担当の先生が、中学校区ごとに集まり、グラフで教科の結果を分析する演習の後、共通の課題を見つけて具体的な対策について、話し合いました。



草津市教え方改革セミナー



12月26日(木)、國學院大學人間開発学部 教授 田村 学 氏から「主体的・対話的で深い学びの実現に向けて」をテーマに講演していただき、その後、各学校で「今後の取組にどう生かすか」について話し合いました。

子どもの生活や学習の様子

※表の中の数字は、それぞれの質問に対する肯定率です。

	伸ばしていきたいと考える項目		今後改善が必要と考える項目	
小学校	今住んでいる地域の行事に参加している。	74.8%	算数の勉強は好きだ。	65.0%
	授業でコンピュータなどのICTを週1回以上使用していた。	74.2%	家で自分で計画を立てて勉強をしている。	70.5%
	授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思う。	70.7%	自分には、よいところがあると思う。	80.3%
中学校	英語の授業で、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思う。	87.5%	屋休みや放課後、学校が休みの日に、本を読んだり借りたりするために学校図書館・学校図書室や地域の図書館に週1回以上行く。	4.0%
	英語の授業はよくわかる。	71.5%	将来、積極的に英語を使うような生活をしったり職業に就いたりしたいと思う。将来の就きたい仕事に就いたり、叶えたい夢を実現させるためには、英語の力は必要になると思う。	36.9%
	授業でコンピュータなどのICTを週1回以上使用していた。	71.0%	国語の勉強は好きだ。	55.1%

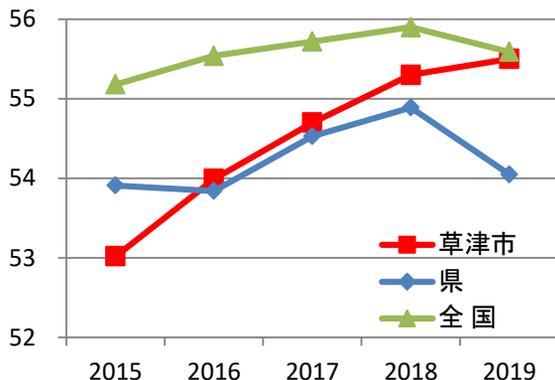
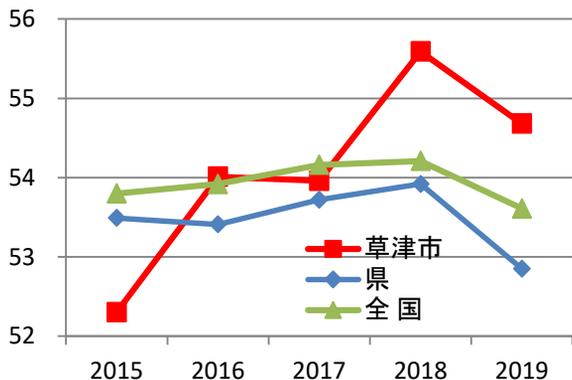
2 令和元年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査より

小学5年生

男子

体力合計点の平均値(点)

女子



令和元年度小学生の結果概要

(男子)

- 全8種目の内6種目において低下したが、全8種目の内6種目において県・全国平均値より高い。
- 長座体前屈(柔軟性)と20mシャトルラン(全身持久力)のみ全国平均値より低い。

(女子)

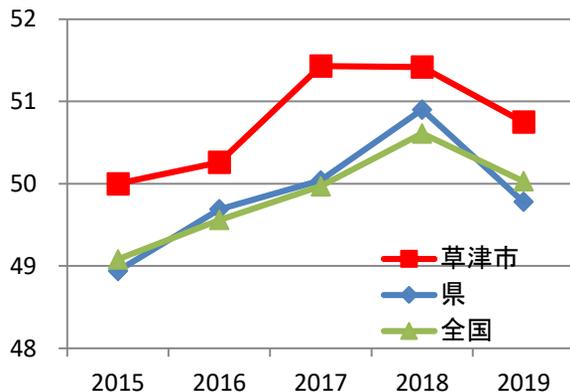
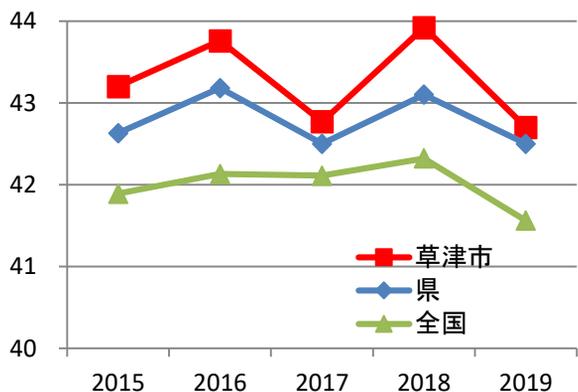
- 小学5年生女子のみ平均値が上昇し、全国平均値とほぼ同等になった。特に握力(筋力)、上体起こし(筋力・筋持久力)、立ち幅とび(瞬発力)が高い数値を示している。
- ソフトボール投げ(巧緻性・瞬発力)のみ、県・全国平均値より低い。

中学2年生

男子

体力合計点の平均値(点)

女子



令和元年度中学生の結果概要

(男子)

- 長座体前屈(柔軟性)は大きく上昇し、県・全国平均値より高い。ハンドボール投げ(巧緻性・瞬発力)以外の7種目が低下した。反復横とび(敏捷性)、立ち幅とび(瞬発力)は低下したが県・全国平均値より高い。
- 握力(筋力)、50m走(スピード)、ハンドボール投げ(巧緻性・瞬発力)において、県・全国平均値より低い。

(女子)

- 長座体前屈(柔軟性)は、3年連続で県・全国平均値を大きく上回った。
- 握力(筋力)、50m走(スピード)において、県・全国平均値より低い。

◎実技調査項目

- ・握力 ・上体起こし ・長座体前屈 ・反復横とび ・20mシャトルラン ・50m走 ・立ち幅とび
- ・ソフトボール(ハンドボール)投げ (※中学校では、ハンドボール投げ)
- ・持久走 (男子1500m・女子1000m ※持久走は、中学生のみで20mシャトルランとの選択制)

III

草津市がめざす教育

子どもが輝く教育のまち・出会いと学びのまち・くさつ

知 「確かな学力」を育む教育

問題解決
のために
知識・技能を
活用する力

自ら課題を
見つけ、
考え、協力して
よりよいものを
創造する力

自ら学ぼうとする意欲と態度

伸び伸びと自分らしく

人のため社会のため

本市では、変化が激しく予測困難な時代の中でも、たくましく生きていくことができる児童生徒の育成をめざします。そのためには、情報化やグローバル化の進展等、今後の社会の変化を見据え、個性を生かし多様な人々と協働しながら、新しい価値観を創造するための学力が必要となってきます。具体的には、「世の中の様々なことに興味や関心を持ち、自ら学ぼうとする意欲と態度」を基盤にして、「学びによって得た知識・技能を問題解決のために活用する力」や「自ら課題を見つけ、考え、人と協力してよりよいものを創造する力」の育成を図ります。

各学校において、児童生徒に「確かな学力」を身に付けさせるため、教科（「特別の教科 道徳」を含む）・特別活動・総合的な学習の時間等のあらゆる教育活動をとおして、ICT機器の活用による協働型・双方向型への授業改善を推進するとともに、学校だけでなく、保護者・地域・関係機関等とも連携し、よりよい教育の展開を図っていきます。

徳

「豊かな感性」を育む教育

どの子にも居場所のある学校、学年、学級づくりに努めるとともに、子どもたちが豊かな情操や自己肯定感、規範意識、社会性などを身に付け、集団生活や他者との関わりをとおして、多様な人とつながることのできる「豊かな感性」を育む教育を推進していきます。

「美しいものや自然に感動できる柔らかな感性」、「正義感や公正さを重んじる心」、「生命を大切にし、人権を尊重できる基本的倫理観」、「他人を思いやる心や社会貢献の精神」、「自立心、自己抑制力、責任感」、「他者との共生や自分と異なるものへの寛容な心」の育成をめざして、意図的・計画的・総合的に取り組んでいきます。

体

「健やかな体」を育む教育

心も体も健康で、活動的に生きようとする子どもの姿を求め、各学校において保護者や地域と連携しながら、「健やかな体」を育む教育を推進していきます。

「よりよい生活習慣の形成」や「運動好きの子どもの育成」をめざし、「健康・安全についての理解を深め、自己ライフスキルを育むこと」、「運動本来の持つ魅力に迫る体育科の授業を充実すること」、「部活動や外遊び、スポーツについて促進すること」、「記録に挑戦し、力を競い合う場を提供・支援すること」、「健康教育や食育を推進すること」に取り組めます。

特に「運動好きの子どもの育成」については、プロの指導によるダンス教室の実施や地域の大学である立命館大学と連携したジュニアスポーツフェスティバル、小・中学校体力向上プロジェクトなどの取組を更に進めていきます。

子どもが輝く教育のまち・出会いと学びのまち・くさつ

知・徳・体の力

1 子どもの生きる力を育成する

バランスよく伸ばす

子どもが豊かな情操や自己肯定感、規範意識、社会性などを身に付け、多様な人とつながることのできる豊かな心を育むとともに、生涯にわたってたくましく生きるための健やかな体の育成をめざします。また、子どもが自ら学び、考え、行動する力を身に付け、多様で変化の激しい社会を生き抜く確かな学力の育成をめざします。

(1) 豊かな心と健やかな体の育成

- ・幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続
- ・道徳教育の推進
- ・人権教育の推進
- ・小中学校の連携した教育相談・生徒指導の推進
- ・いじめをなくす取組の推進
- ・市いじめ問題対策連絡協議会の開催
- ・小中学校体力向上プロジェクトの推進
- ・「ジュニアスポーツフェスティバルKUSATSU」の実施
- ・運動部活動への支援の充実

- ・食育の充実
- ・学校給食センターとの連携
- ・中学校給食実施に向けた準備
- ・草津市青少年美術展覧会
- ・キャリア教育の推進
- ・特別な支援や配慮を必要とする子どもを支える教育の充実
- ・インクルーシブ教育の推進
- ・学校のユニバーサルデザイン化
- ・就学指導・就学相談の充実

(2) 確かな学力の育成

- ・ICT機器を活用した授業の推進
- ・「草津型アクティブラーニング」による授業改善
- ・プログラミング教育の実施
- ・遠隔授業の実施
- ・ICT情報モラル教育の実施
- ・“学習・情報センター”としての学校図書館の活用
- ・学校図書館の充実
- ・市立図書館との連携
- ・「ビブリオバトル」の開催
- ・子どものつまずき発見・克服事業
- ・学習につまずく児童の早期把握・早期支援
- ・家庭学習の充実
- ・漢字検定・英語検定(GTEC)の実施
- ・放課後・土曜日の学びの推進
- ・英語教育の推進
- ・国際理解教育の推進

教育の質の向上のポイント

2 学校の教育力を高める

子どもが安心して学校生活を過ごすための教育環境と指導・支援体制の充実を図ります。

(1) 教職員の指導力の向上

- ・草津市職員研修講座の開催
- ・スキルアップアドバイザーによる指導
- ・草津市教職員教科等部会別研修会の開催
- ・草津市教育研究奨励事業の実施
- ・教育情報化リーダー養成研修の推進
- ・学力向上マネジメント会議の実施
- ・草津市教え方改革セミナーの実施
- ・教職員の健康管理と働き方改革の推進

(2) 学校経営の充実

- ・学校経営管理研修会の開催
- ・コミュニティ・スクールくさつの推進
- ・「学校教育パイオニアスクールくさつ」の推進
- ・“チーム学校”による支援体制の構築
- ・市費教員や支援員による指導体制の充実
- ・学校問題サポートチーム会議の開催
- ・適応指導教室「やまびこ」の運営
- ・スクールソーシャルワーカーの活用
- ・翻訳・通訳による支援

(3) 教育環境の充実

- ・ICT環境の整備(ハード面・ソフト面)
- ・快適な学校施設
- ・地震に強い学校施設
- ・学校図書館の環境整備

学校教育 充実の土台

3 社会全体で学びを進める

子どもが豊かな社会性を身に付けるために、また、子どもと大人がともに学んでいくためにも、家庭や地域での教育力の向上を図ります。

(1) 家庭・地域での学びの充実

- ・一斉連絡システムの活用
- ・教育に関する情報発信
- ・インターネット利用によるトラブル未然防止
- ・地域協働高校の実施

- ・学生ボランティアの活用
- ・地域ボランティア等による学校支援の充実
- ・学習ボランティアの育成と活用

(2) 生涯学習・スポーツの充実

- ・子ども環境会議の推進
- ・生涯スポーツ活動の支援
- ・社会体育施設の整備・充実

学校教育 充実の土台

4 歴史と文化を守り育てる

子どもが地域に息づく歴史文化の価値や魅力を学ぶことで、郷土を大切にする気持ちを醸成するとともに、文化・芸術活動に親しむことで、感性や創造性の育成をめざします。

(1) 文化・芸術の振興

- ・文化・芸術活動の支援・充実

(2) 文化財の保存と活用

- ・ふるさと意識を高める取組の推進